部 狀 況

昨年七月以降敦職員及び會員の任免移動左の通りであります。 十一月 四日 七。月廿一日 鶴谷 上野 榮仁君 助手を気ぜらる 源吉君 仝

十一月十二月 助手を命ぜらる

十一月十一日

正巳君

소

十二月廿六日 十二月二十日 十二月二十日 十二月十八日 十二月 十日 十一月十一日 十一月十四

顯理氏

榮藏氏

講師を嘱託せらる

菊雄君

助手を免ぜらる 教授に任ぜらる 服部

総作君

助手を死せらる

樋口

佐藤春太郎氏

教授に任ぜらる

助手を命ぜらる

善衛氏

嘱託を解かる

水脇

寅熊君 琢磨君

仝

月廿四日



大正 八 年十月五 H

第四 回 陸上大運動 會閉會後、 第七教室に於て同窓會大會 しを開 會終つて馬場町うか正に於て懇親會を催

來會者二十一名、 次の 如し。

原田 兵衛

格次 物吉 不法 **滋田** 古東 濱井 幹 太 勝 壽夫 横田 齋藤 須田 康雄 節樹 菊雄 小栗林原 淼 小 兑 茂雄 益男 茂

> 高尾 武井

歲次 克巳

梅澤庫太郎

高木

齋藤

Ħ. ル

大正 九 年三 月 + 克. П

同窓會 闖 第 原 Ť 會 -6 H 氏 0) 0) 回 議 總 辭 26 希 長席 Ŀ 述 證 E 新卒 . 13 開 書 ø 就 授 催 業生 次で 40 35 與 式 先 總 原 終了 森 代 づ 山 \mathbf{H} 在 兵衞 後式 Ŀ 林 H 郞 鐪 氏開 氏 同 多兵衛氏の 窓生を代表 0) 會の 歡 於て、 迎 辭 O) 答 辭 當 を逃 して在 辭 H 等 200 濱井 來 b 校 伊 壽 同 田以 ħ て午前 窓生 夫氏 藤 競氏、 外 0 を以て 0 卒業 同窓 Ŧ 原 生に 新卒 後 時 田 华 Q) 兵衞氏を議 業 對 閉 經 會 驗 生 L 談 0 希望を述べ 午 歡 後 兒 迎 長に 會 玉 推 腙 忠 をなす。 ъ 薦 雄 ئ 次で Ĺ 氏 h 滿 第 0) 議事 先づ 同 塲 敎室 窓 致賛 會 743 1. 斡 襟 移 1: 成 治 於 鏘 b. 7 بح 氏

勝氏 間 l (一)兒玉 103 O) 午 休 11]: 梭 愆 題を宜す。 忠雄 四 內容充實問 睛 氏 1. 到 3 休 母 題 校 も議事途に決せず。O問 憩後(三)伊藤競氏母校創 昇 1-關 格 し説 問 趔 1 明するどころ 關 する 經 題 過 あ 報 to 立十週年祝 莂 告を h 所 あし、 温 杏 泉花 n から 質協讃會豫算案に就て説明 今後 善後策に就て 屋 ホ ラ 0 n 方針 E E 齎 して、 討議をあし、 就 きて 午後七 討議をなす、 į 時より 午後二時 續いて討議 次に 再び協議 丰 諓 \equiv に移 長十 平澤 孙 h

华 後七 賠 半了 原田 0 τ 鄒 親 會に 入 5 午後 九 時 闭 會 せ **b** 當 H H 席 者 氏 名左 0 如

木脇 須田 寅能 篠 尾 小 伊 Ŧ 兒 見 原 춀 益男 忠 雄 濱 見波 栗林 白 溪 非 壽 斡 悅 夫 平 田 樋 濹 中 П 由 太 琢 碿 雄 勝 細 佐々 武 ĴΠ 井 木二 克巳 三郎 郎

古 **/11**1

節

森